
「映らないよ」

天流希美

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

「映らないよ」

【Nコード】

N0442P

【作者名】

天流希美

【あらすじ】

「写らないよ」 シャッターをきる。確かにそこにあるはずなのに、画面の中にクラゲはいなかった。「写らないよ」 Q .
どうして。A . 現実じゃないから。「映らないよ」 写真はいつだって、現実しか写さない。【約1000文字の恋愛物語。一人の女の独白、それ以外はない】

「写らないよ」

背後で穏やかな声が聞こえる。あたりから漏れ出すフィルター音に邪魔されていたが、確かに彼のものだとは確信できた。

彼の声は透明感があつて、男声にしては少し高い。それでも耳に障らないその声が、私は好きだった。

私は大きく写るカメラの液晶を見下げながら、何の感慨もなしに首を傾げた。

一瞬前までそこに写っていたクラゲが、まるで魔法のように消えてしまっている。

魔法は、撮ろうとしたクラゲを消してしまうような意地悪なものだったのか。それとも、何の同情かクラゲを幻影として見せてくれるような残酷なものだったのか。

「ホログラムはカメラじゃ写らないんだ」

彼ののんびりとした説明に、私はようやくカメラから視線を外して顔を上げた。首を少し傾け、彼のほうを見上げる。

理想の15センチ。友人から散々もてはやされたその距離は、私が伸びない限り永遠に変わることはない。

伸び悩み盛りの私だけれど、彼とのこの距離が好きだった。キスをするときに少しだけ踵を上げなければ届かない、この距離が。

「どうして」

私が純粹な疑問を投げかけると、彼は困ったように眉を下げた。彼自身、他人に説明できるほど専門的な知識はないのだろう。

困らせるつもりはなかったのだけれど。私自身も柳眉を下げて彼に応える。

恋人になつてから数年。いつだって私達は、遠慮しがちな関係だった。常に距離を置いて、相手を気遣う。だからこそ、お互い浮気もなしに初心のままであいられたのかもしれない。

「よくわからないけど……3Dでしょ？ 写ってないと思うなあ」

言われた通り、撮った写真を再生モードで見返してみる。

確かに、シャッターを押したはずだった。指には冷たい感覚さえ残っている。私は画面の中にある、ホログラムをよく映すために真っ暗にされた空間を、ぼんやりと見つめた。

闇が深い。何も無い。何も。

「すごいよね。人の目にこんなにもはつきりと映っているのに、カメラは写せない。シャッターを押した瞬間が最後、まるで最初から何も無かったように消えていく」

幻影なんだろうね。声を抑えて語る彼は、なかなかのロマンチストだと思つ。

私は目の前に浮かぶクラゲの“幻影”をじつと見つめ、もう一度カメラを構えた。もしかしたら。そんな淡い期待が、私の中にあつたのかもしれない。

ピントを合わせている最中に、彼に声を出されて笑われる。

「写らないって」

軽いシャッター音。寂れた水族館には、やけに大きな音に聞こえた。

画面にはやはり、何も写らなかった。かつて彼が冗談まじりに好きだと言っていたクラゲは、闇に溶けて泡となる。

写真はいつだって、現実しか写さない。

私は身体を反転させて、彼の姿を撮った。私がクリスマスに上げた服だ。あの時のまま。

彼は少し眉を歪めて、悲しげに笑った。

こんな私を、今でも彼は哀れに思ってくれているのだろうか。

「映らないよ」

画面の中に、彼はいない。

当然だろう。

二年前、彼は私の目の前でトラックの車体に巻き込まれて、現実から消えてしまったのだから。

(後書き)

以下から作者が暴走しています。
耐性のある方のみ、お進み下さい。

あいむOKINAWAなう。
ということで沖縄からお送りします。
短編を投稿したのははじめてです。短っ！1000文字ってこんなに短いものなんですな。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0442p/>

「映らないよ」

2011年11月17日00時20分発行